



菱田春草 《水鏡》 明治30年(1897) 東京藝術大学蔵



菱田春草 《王昭君》[重要文化財] 明治35年(1902) 龍澤山 善實寺蔵(東京国立近代美術館寄託)

菱田春草^{ひしだしゅんそう}は明治7年(1874)に飯田・仲ノ町^{なかのちやう}に生まれた日本画家です。飯田学校^{おうえまち}(現飯田市立追手町小学校)を経て東京美術学校(現東京藝術大学)に学び、卒業後は日本美術院の結成に参加しました。そこで「朦朧体」と呼ばれる画風を研究し、《菊慈童^{きくじどう}》や《王昭君^{おうしやうくん}》を描きます。やがて外遊を経た後は色彩や装飾性を重視する画風へ進み、《賢首菩薩^{けんしゅぼさつ}》や《黒き猫^{くろねこ}》を手がけますが、明治44年(1911)に満36歳という若さで没しました。

春草が没して110年、春草の故郷にある本館では、これを記念した回顧展を開催します。春草の代表作を一堂に会し、春草芸術の神髄をご覧ください。また《雨中美人^{うちゅうびじん}》などの未完成作品やスケッチ類にも光をあて、名画誕生の秘密も明らかにします。



菱田春草 《菊慈童》[長野県宝] 明治33年(1900) 飯田市美術博物館蔵



交通
JR飯田線飯田駅から徒歩20分
高速バス終点「飯田商工会館」から徒歩5分
中央自動車道飯田ICから車15分
中央自動車道座光寺SICから車15分

【お願い】
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、マスク着用の上ご来館ください。混雑時には入館制限をさせていただく場合があります。



菱田春草 《賢首菩薩》[重要文化財] 明治40年(1907) 東京国立近代美術館蔵



菱田春草 《雨中美人》(未完成) 明治43年(1910) 飯田市美術博物館蔵



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

